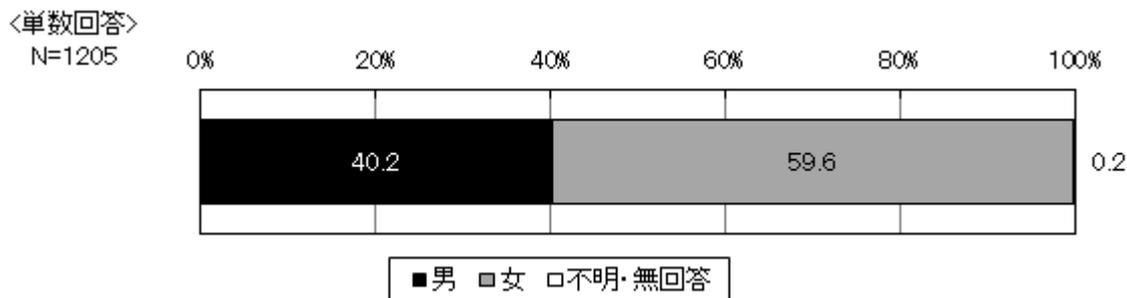


基山町町民満足度調査結果

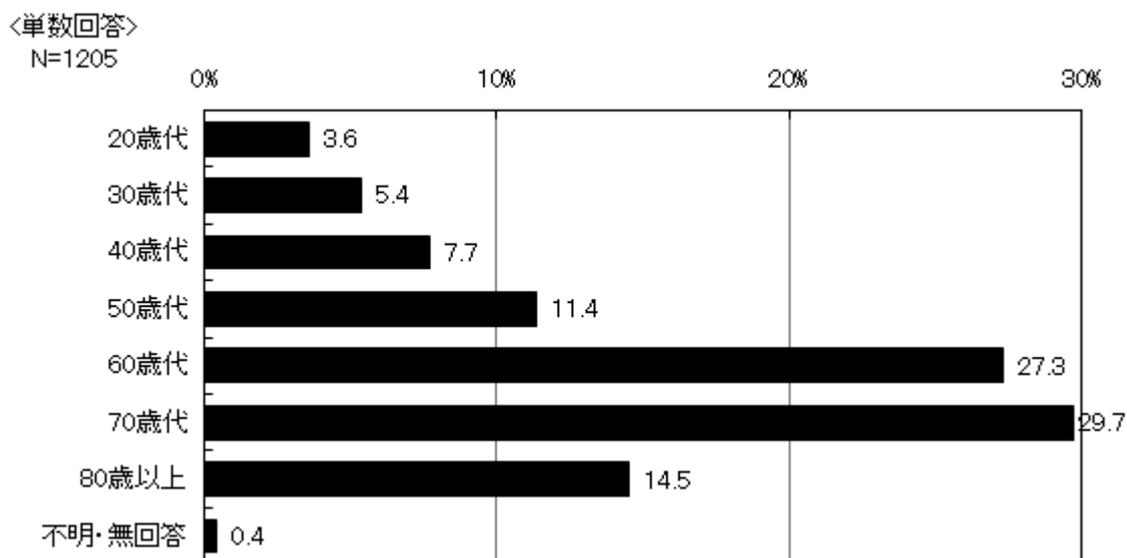
令和2年9月
基山町

調査対象者について

問1 回答者の性別



問2 回答者の年齢



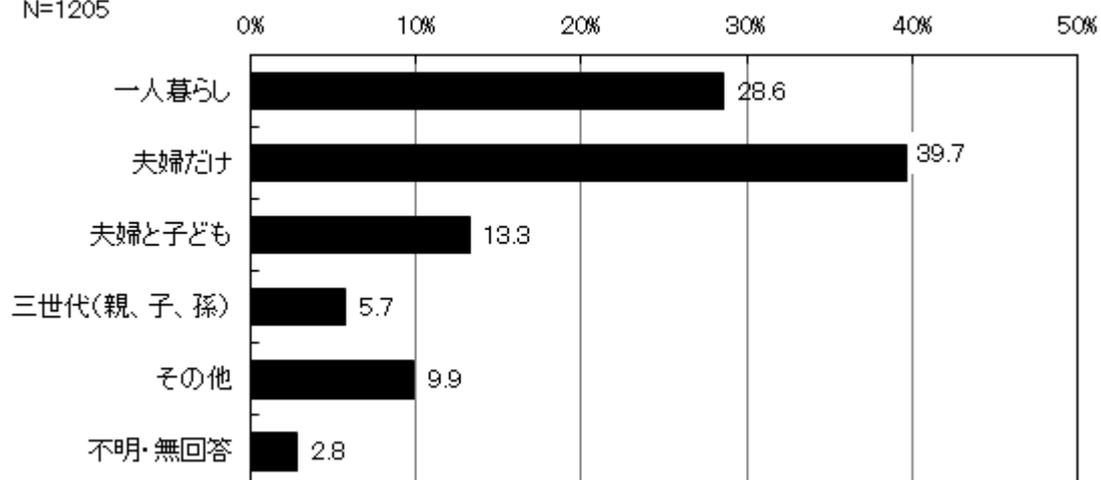
※町民満足度調査は、基山町が行う事業等に対し、町民がどの程度満足と感じているか、また、重要と感じているかを把握するための第5次基山町総合計画に基づく調査です。

調査対象者は、前回（平成26年度）実施と同じ条件の、本町在住の20歳以上の方の中から無作為に選んだ2,500名で、令和2年7月に7月31日（金）を回答期限として実施しました。

有効回答数は1,205件、回答率48.2%で前回（平成26年度）については、有効回答数944件、回答率37.8%となっております。

問3 回答者の家族構成

<単数回答>
N=1205



その他回答

親・子、親・夫婦、本人・子、親・本人、本人・息子夫婦 (82)

ホーム・施設に入所 (10)

友人 (2)

妹・姪

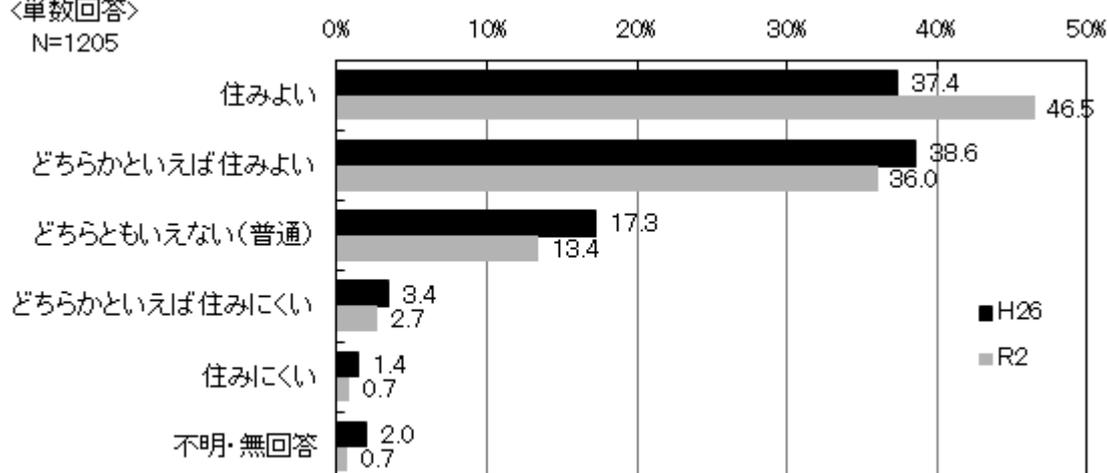
本人・孫

夫婦・孫

町の暮らしやすさについて

問4 あなたは、全体的にみて、基山町は住みよいと思いますか。

＜単数回答＞
N=1205



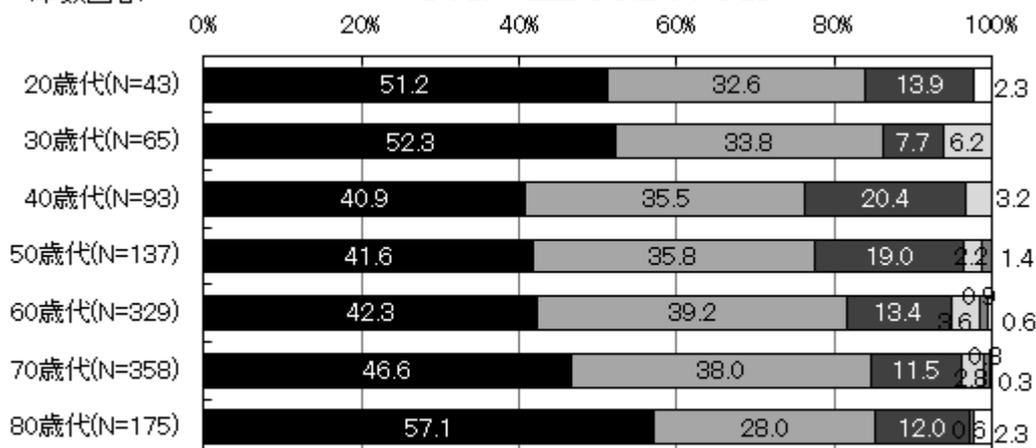
「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」をあわせた『住みよい』と答えた人が平成26年度の76.0%に対し、令和2年度は82.5%で6.5%向上しています。

年齢別

【令和2年度】

＜単数回答＞

【年齢×基山町の住みやすさ】



■ 住みよい □ どちらかといえば住みよい ■ どちらともいえない(普通)
□ どちらかといえば住みにくい ■ 住みにくい □ 不明・無回答

年齢別でみると、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」をあわせた『住みよい』と答えた人が、30歳代が86.1%と最も高く、次いで80歳以上が85.1%、70歳代が84.6%となっています。

【住みよいい度の比較】

	基山町の住みよいい度		
	平成26年度	令和2年度	比較
20歳代	89.8%	83.8%	△ 6.0%
30歳代	75.0%	86.1%	11.1%
40歳代	71.5%	76.4%	4.9%
50歳代	78.4%	77.4%	△ 1.0%
60歳代	76.6%	81.5%	4.9%
70歳代	75.8%	84.6%	8.8%
80歳代	82.5%	85.1%	2.6%
合計	76.0%	82.5%	6.5%

年齢別で「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」をあわせた『住みよい』と答えた人を平成26年度と令和2年度で年代別で比較してみると、20歳代で6.0%減少、50歳代で1.0%減少していますが、その他の年代では向上しています。

【住みよいいと考える点】

- 交通の便が良い。福岡に近い。治安が良い。自然豊か。町がきれい。静か。災害が少ない。(216)
- スーパー、病院、銀行、役場が近い。(24)
- 人が良い。人情豊かな町民。(19)
- 住んでいて不便さを感じない。困ることがない。(16)
- 生まれ育ったところだから。(14)
- 店舗がたくさんある。(6)
- 田舎と都市が融合しているところ。(5)
- 行政サービス、取り組みがよい。(5)
- 町がコンパクトで町の大きさ、人口の規模が丁度よい。(5)
- 福祉、高齢者へのサポートがよい。(2)
- 車の交通量が少ない。(2)
- 町民のまとまりがよい。
- 町長がよい。
- サンエーの送迎が助かる。

【住みにくい、どちらかといえば住みにくいと考える点】

車が必要。交通が不便。(14)

商業施設が少ない。店が少ない。病院が少ない。(5)

水道代、税金が高い(4)

田舎としても都会としても中途半端。

区費が高い。消防団に入団しなければならない。

町民が保守的。外部を受入れない。

農村に都会からの移住があった。

さびしいから。

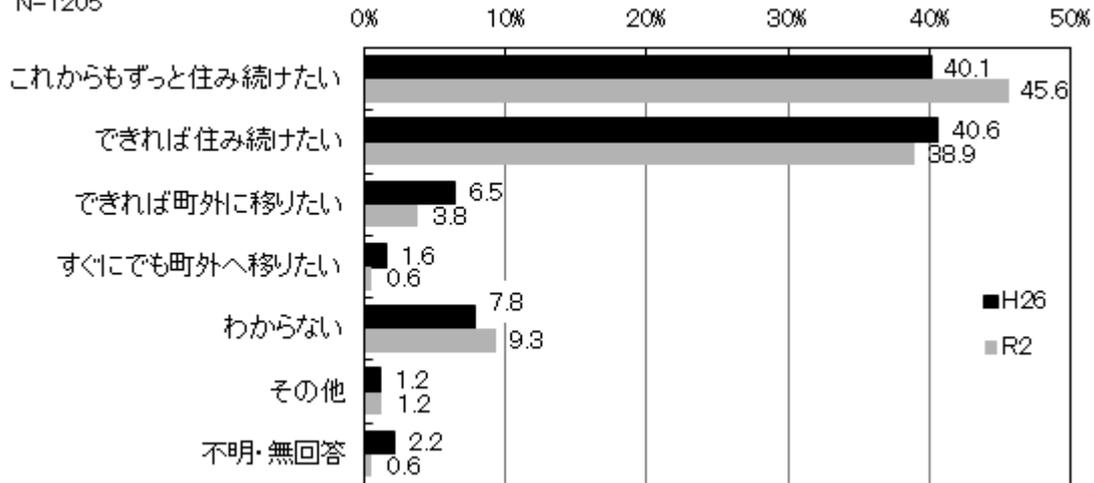
道路整備が必要。

※20代と50代で『住みよい』と答えた人が減少していますが、『住みにくい』、『どちらかといえば住みにくい』理由について、20代では理由を記入している人はおらず、50代では車がないと生活に不便という意見がありました。

問5 あなたは、これからも基山町に住み続けたいと思いますか。

〈単数回答〉

N=1205



「これからもずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」をあわせた『住み続けたい』と答えた人は平成26年度の80.7%に対し、令和2年度は84.5%で3.8%向上しています。

【できれば町外に移りたい、すぐにでも町外に移りたいと考える点】

- 車が必要。交通が不便。(9)
- 商業施設が少ない。店が少ない。(5)
- 町民が閉鎖的。(3)
- 水道、下水道代、税金が高い。生活費に費用がかかりすぎる。(3)
- 子どもが町外にいる。(2)
- 工場の臭気。臭気が気になる。(2)
- 住みやすいがつまらない。魅力がない。(2)
- わずらわしい行事が多い。

その他回答

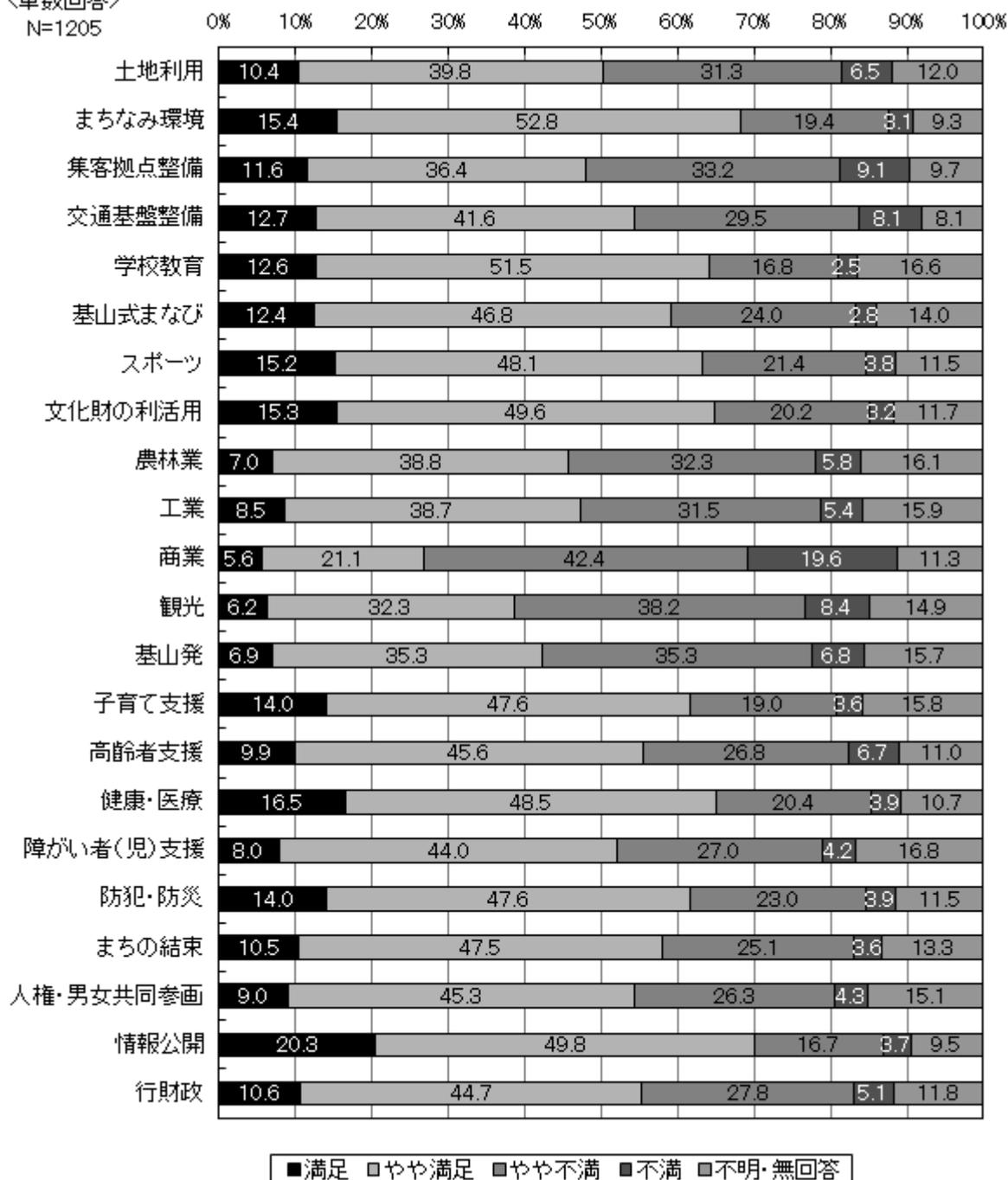
- 町外の親、子どもと同居を予定している。(4)
- 車が運転できなくなったら引っ越しを検討。
- 交通の便が良いため基山町の土地を購入した。
- 福岡出身のため佐賀に抵抗がある。
- 学校の校区。福岡の学校に行きたい。

基山町のまちづくりについて

問6 基山町のこれからの取り組みについて、現時点であなたはどのくらい満足し、また、重要とお考えですか。

【満足度】

〈単数回答〉
N=1205



「満足」「やや満足」と答えた人が「情報公開」では 70.1%、「まちなみ環境」では 68.2%、「健康・医療」では 65.0%となっており、「不満」「やや不満」を大きく上回っています。一方「商業」では「不満」「やや不満」が 62.0%と「満足」「やや満足」を大きく上回っています。また、満足度を平成 26 年度と令和 2 年度で比較してみますと、多くの施策で向上しており、「土地利用」、「商業」、「行財政」の順に大きく向上しています。

【満足度の比較】

	H26 年度	R2年度	比較
土地利用	35.4%	50.2%	14.8%
まちなみ環境	65.3%	68.2%	2.9%
集客拠点整備	35.5%	48.0%	12.5%
交通基盤整備	60.4%	54.3%	△ 6.1%
学校教育	54.3%	64.1%	9.8%
基山式まなび	54.8%	59.2%	4.4%
スポーツ	62.8%	63.3%	0.5%
文化財の利活用	64.0%	64.9%	0.9%
農林業	35.0%	45.8%	10.8%
工業	38.4%	47.2%	8.8%
商業	13.8%	26.7%	12.9%
観光	31.9%	38.5%	6.6%
基山発	31.0%	42.2%	11.2%
子育て支援	49.4%	61.6%	12.2%
高齢者支援	43.5%	55.5%	12.0%
健康・医療	59.1%	65.0%	5.9%
障がい者(児)支援	43.7%	52.0%	8.3%
防犯・防災	55.1%	61.6%	6.5%
まちの結束	52.4%	58.0%	5.6%
人権・男女共同参画	48.3%	54.3%	6.0%
情報公開	63.4%	70.1%	6.7%
行財政	42.6%	55.3%	12.7%

※満足度：「満足」と「やや満足」を足した割合

満足度 上位			満足度向上 上位		
①	情報公開	70.1%	①	土地利用	14.8%
②	まちなみ環境	68.2%	②	商業	12.9%
③	健康・医療	65.0%	③	行財政	12.7%
④	文化財の利活用	64.9%	④	集客拠点整備	12.5%
⑤	学校教育	64.1%	⑤	子育て支援	12.2%

【不満度の比較】

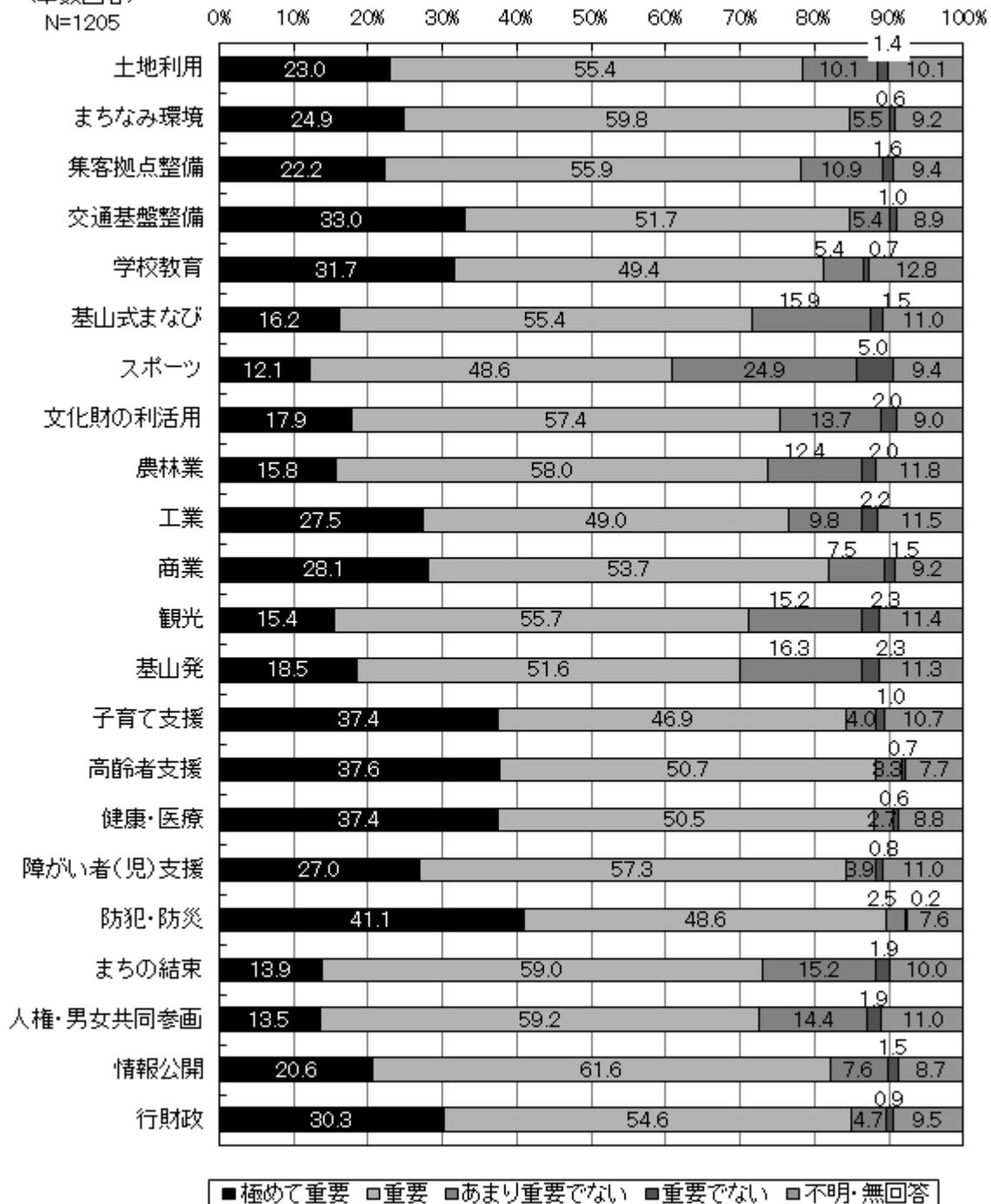
	H26 年度	R2年度	比較
土地利用	57.4%	37.8%	△ 19.6%
まちなみ環境	28.4%	22.5%	△ 5.8%
集客拠点整備	58.7%	42.3%	△ 16.4%
交通基盤整備	34.2%	37.6%	3.5%
学校教育	33.9%	19.3%	△ 14.6%
基山式まなび	36.4%	26.8%	△ 9.6%
スポーツ	30.1%	25.2%	△ 4.9%
文化財の利活用	28.7%	23.4%	△ 5.3%
農林業	52.2%	38.1%	△ 14.0%
工業	50.0%	36.9%	△ 13.2%
商業	78.2%	62.0%	△ 16.2%
観光	57.5%	46.6%	△ 10.9%
基山発	56.0%	42.1%	△ 13.8%
子育て支援	40.0%	22.6%	△ 17.4%
高齢者支援	47.6%	33.5%	△ 14.0%
健康・医療	32.8%	24.3%	△ 8.5%
障がい者(児)支援	44.0%	31.2%	△ 12.8%
防犯・防災	36.8%	26.9%	△ 9.8%
まちの結束	37.2%	28.7%	△ 8.4%
人権・男女共同参画	39.5%	30.6%	△ 8.9%
情報公開	27.9%	20.4%	△ 7.6%
行財政	45.9%	32.9%	△ 13.0%

※不満度：「不満」と「やや不満」を足した割合

不満度 上位			不満度上昇 上位		
①	商業	62.0%	①	交通基盤整備	3.5%
②	観光	46.6%	②	スポーツ	△ 4.9%
③	集客拠点整備	42.3%	③	文化財の利活用	△ 5.3%
④	基山発	42.1%	④	まちなみ環境	△ 5.8%
⑤	農林業	38.1%	⑤	情報公開	△ 7.6%

【重要度】

＜単数回答＞
N=1205



「極めて重要」「重要」と答えた人が「防犯・防災」では89.7%、「高齢者支援」では88.3%、「健康・医療」では87.9%となっており、「重要でない」「あまり重要でない」を大きく上回っています。また、ほとんどの項目で「極めて重要」「重要」をあわせた『重要』と答えた人が7割を超えています。

【重要度の比較】

	H26 年度	R2年度	比較
土地利用	79.0%	78.4%	△ 0.6%
まちなみ環境	84.5%	84.7%	0.2%
集客拠点整備	81.5%	78.1%	△ 3.4%
交通基盤整備	81.1%	84.7%	3.6%
学校教育	85.9%	81.1%	△ 4.8%
基山式まなび	73.8%	71.6%	△ 2.2%
スポーツ	64.5%	60.7%	△ 3.8%
文化財の利活用	72.7%	75.3%	2.6%
農林業	72.0%	73.8%	1.8%
工業	79.0%	76.5%	△ 2.5%
商業	84.3%	81.8%	△ 2.5%
観光	72.7%	71.1%	△ 1.6%
基山発	64.3%	70.1%	5.8%
子育て支援	89.1%	84.3%	△ 4.8%
高齢者支援	89.1%	88.3%	△ 0.8%
健康・医療	88.5%	87.9%	△ 0.6%
障がい者(児)支援	85.0%	84.3%	△ 0.7%
防犯・防災	89.4%	89.7%	0.3%
まちの結束	73.6%	72.9%	△ 0.7%
人権・男女共同参画	69.8%	72.7%	2.9%
情報公開	78.9%	82.2%	3.3%
行財政	84.5%	84.9%	0.4%

※重要度：「極めて重要」と「重要」を足した割合

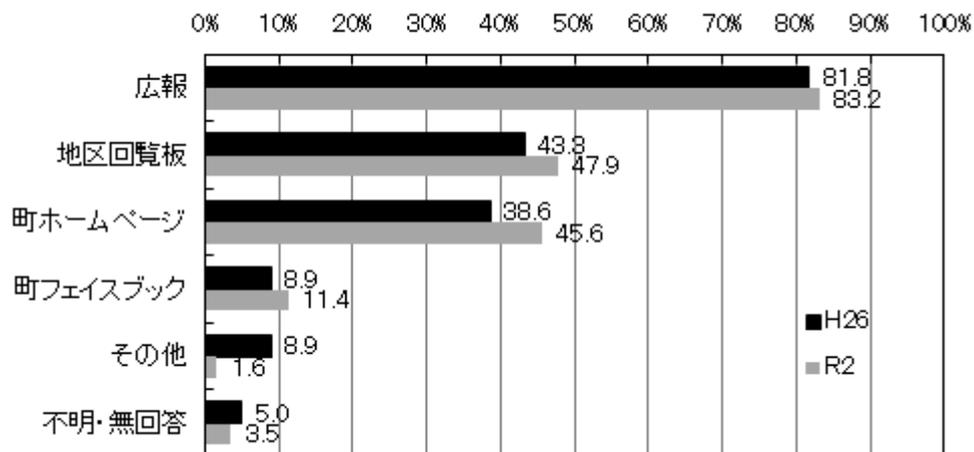
重要度 上位			重要度向上 上位		
①	防犯・防災	89.7%	①	基山発	5.8%
②	高齢者支援	88.3%	②	交通基盤整備	3.6%
③	健康・医療	87.9%	③	情報公開	3.3%
④	行財政	84.9%	④	人権・男女共同参画	2.9%
⑤	まちなみ環境	84.7%	⑤	文化財の利活用	2.6%
⑤	交通基盤整備	84.7%			

情報収集について

問7 町の行政情報を取得する場合、どのようなものが重要ですか。

<複数回答>

N=1205



「広報」と答えた人が 83.2%と最も高く、次いで「地区回覧板」が 47.9%、「町ホームページ」が 45.6%、「町フェイスブック」が 11.4%となっています。

その他回答

ライン (3)

行政組合集会 (2)

ツイッター

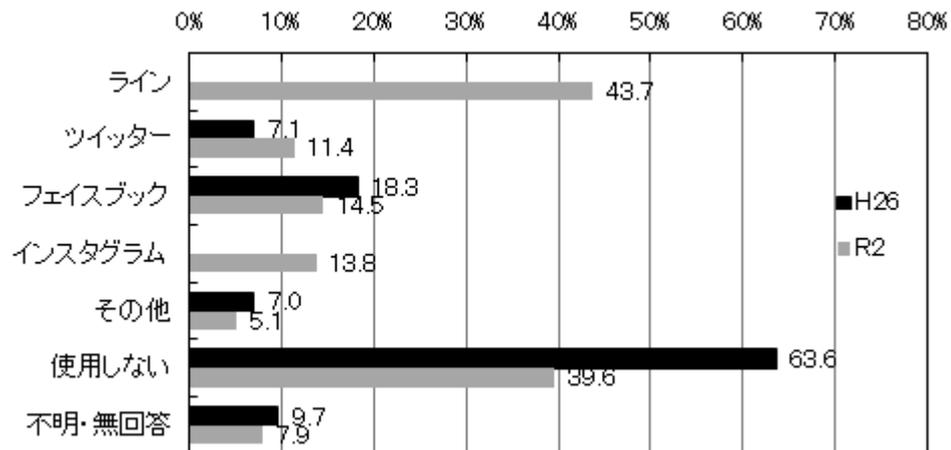
フェイスブック

ユーチューブ

役場情報公開コーナー

問8 様々な情報を収集する場合、ソーシャルネットワーキングサービスを使用されますか。

〈複数回答〉
N=1205



「使用しない」と答えた人は 39.6% となっており、平成 26 年度の 63.6% に比べ 24.0% 減少しています。一方、情報収集にソーシャルネットワーキングサービスを利用している人は「ライン」が 43.7%、「フェイスブック」が 14.5%、「インスタグラム」が 13.8%、「ツイッター」が 11.4% となっています。

その他回答

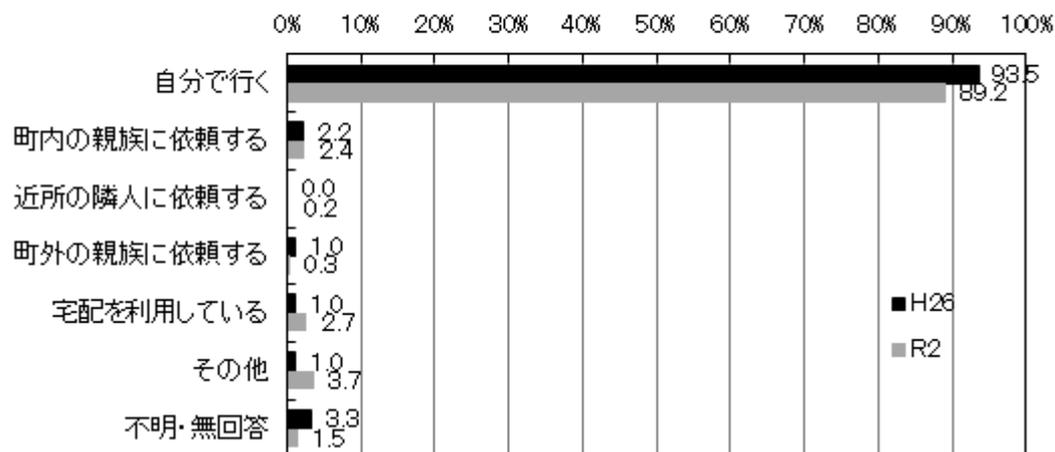
- インターネット (11)
- ホームページ (4)
- 町のホームページ (2)
- ユーチューブ
- ヤフー
- グーグル
- Slack、zoom
- ファイヤーフォックス
- ブログ

買い物・日常生活について

問9 日常の買い物はどのようにされていますか。

<単数回答>

N=1205



「自分で行く」と答えた人が89.2%と最も高く、次いで「宅配を利用している」が2.7%、「町内の親族に依頼する」が2.4%となっています。

その他回答

家族（20）

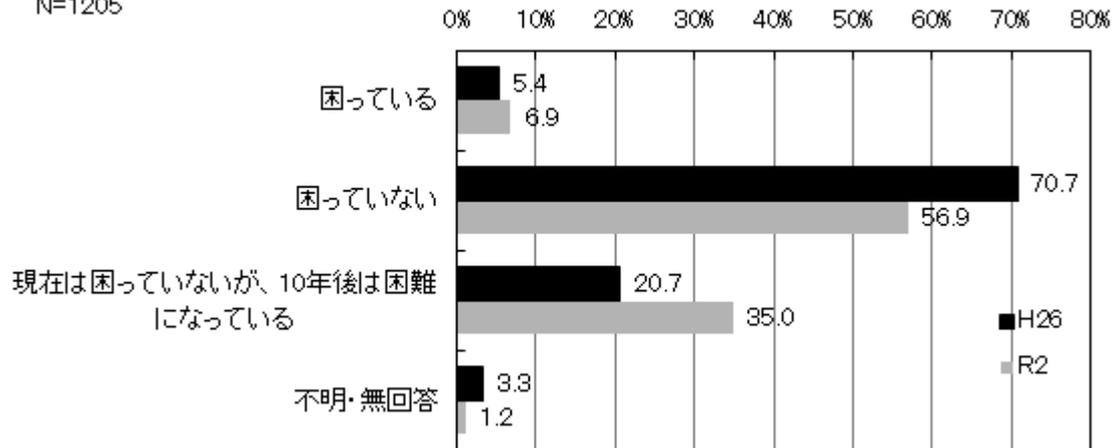
グループホーム職員、施設職員（14）

サンエー送迎車

問 10 現在、日常の買い物について困っていることがありますか。

<単数回答>

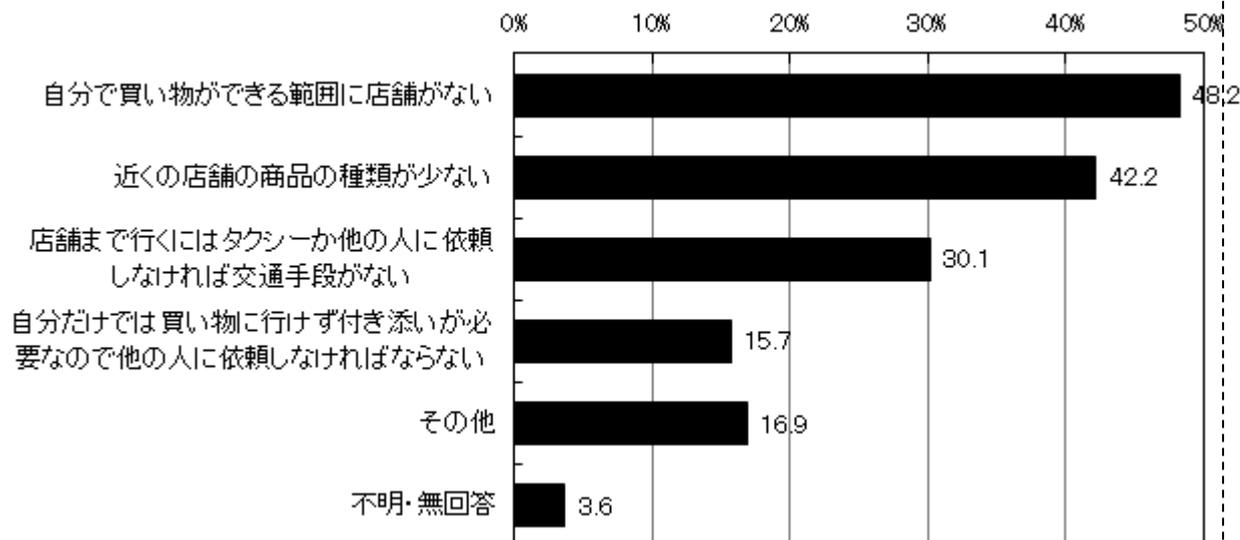
N=1205



「困っていない」と答えた人が 56.9%と最も高く、次いで「現在は困っていないが、10年後は困難になっている」が 35.0%、「困っている」が 6.9%となっています。平成 26 年度と令和 2 年度を比較してみますと、「現在は困っていないが、10 年後は困難になっている」が 14.3%増加し、「困っていない」が 13.8%減少しており、将来の買い物に対して不安を感じている人が増えています。

問 10-1 問 10 で「1. 困っている」と回答された方の理由についてお尋ねします。

<単数回答>
N=83



「自分で買い物ができる範囲に店舗がない」と答えた人が 48.2%と最も高く、次いで「近くの店舗の商品の種類が少ない」が 42.2%、「店舗まで行くにはタクシーか他の人に依頼しなければ交通手段がない」が 30.1%、「自分だけでは買い物に行けず付き添いが必要なので他の人に依頼しなければならない」が 15.7%となっています。

その他回答

近辺に店舗が少ない。けやき台に店舗がない。3号線東側に店舗がない。(16)

循環バスを増便してほしい。日曜日も運行してほしい。(4)

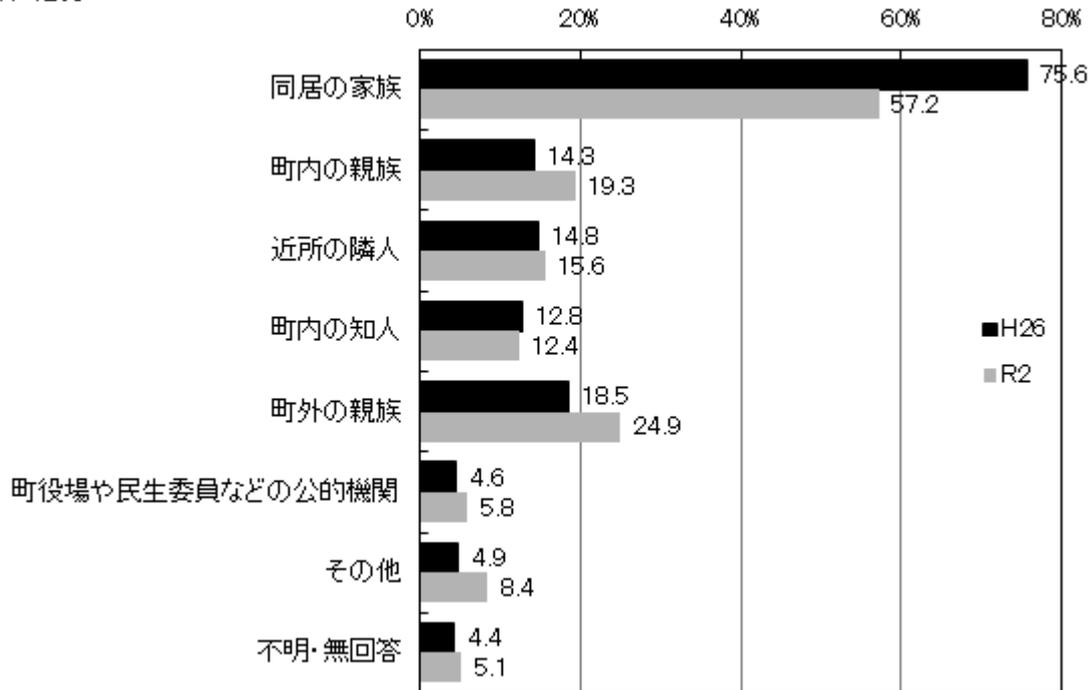
子どもに連れて行ってもらっている。(3)

宅配を頼んでいる。(2)

家族に高齢者がおり、1人にできない。

問 11 日常生活の相談や支援はどのようにされていますか。

<複数回答>
N=1205



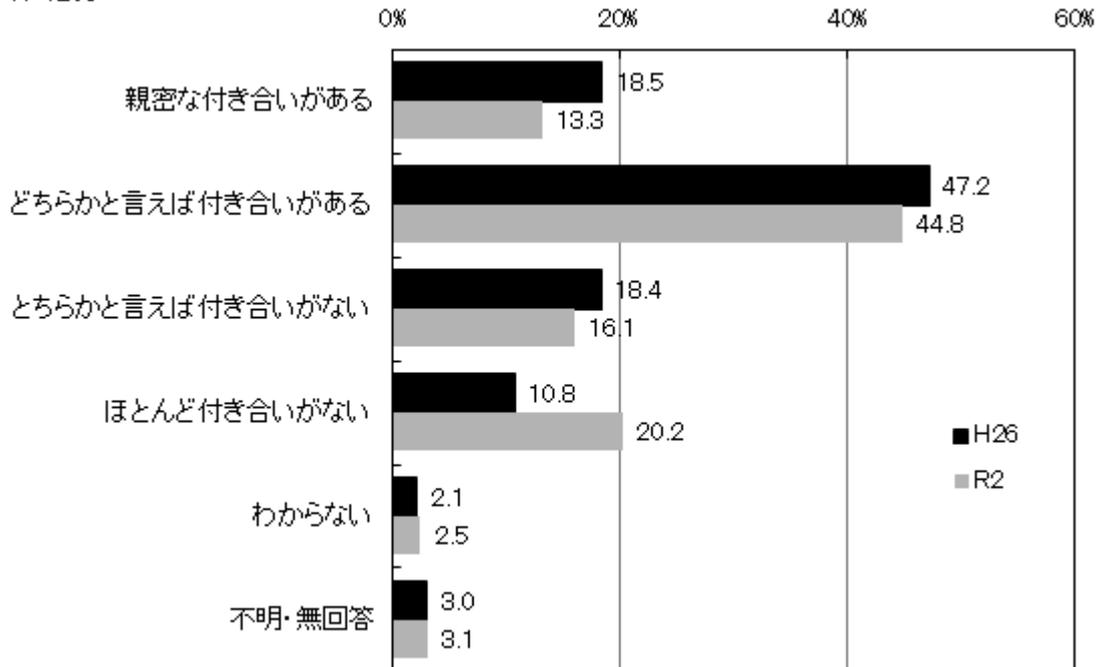
「同居の家族」と答えた人が 57.2%と最も高く、次いで「町外の親族」が 24.9%、「町内の親族」が 19.3%となっています。「同居の家族」と答えた人は、平成 26 年度の 75.6% に対し、令和 2 年度は 57.2%と 18.4%減少しています。

その他回答

- 施設の職員、病院、ケアマネージャー (24)
- 現在必要ない。誰にもしていない。(14)
- 町外の知人、友人 (11)
- 職場の人 (6)
- 友人、知人 (4)
- 信頼できる人がいない。(3)
- 子 (2)
- 役場 (2)
- 別居の親族 (2)

問 12 隣近所とはどの程度のお付き合いをされていますか。

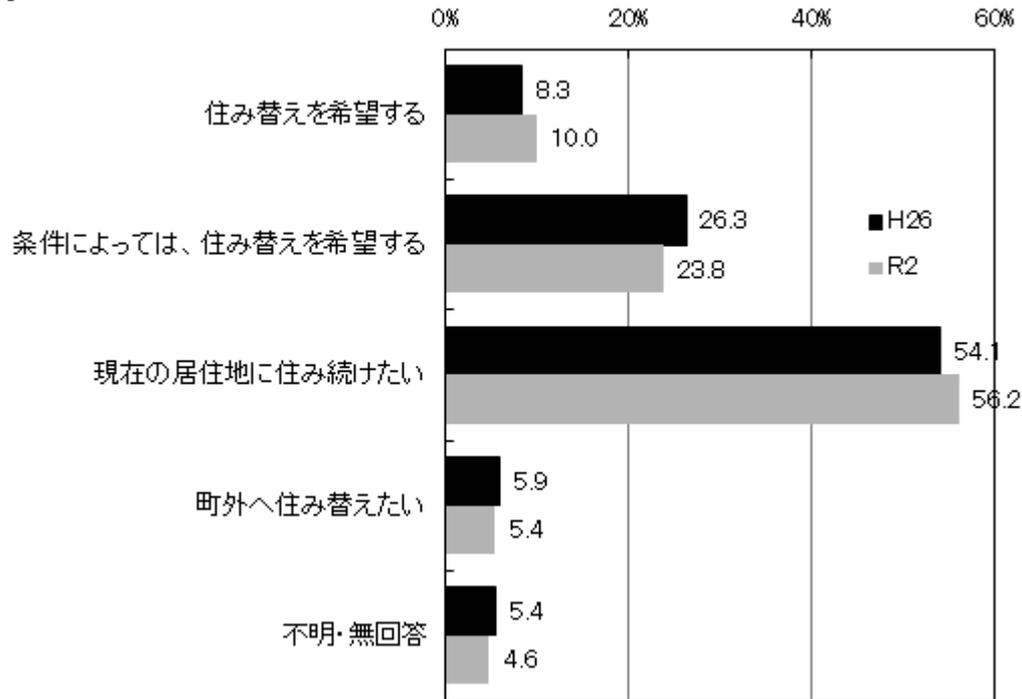
〈単数回答〉
N=1205



「どちらかと言えば付き合いがある」と答えた人が 44.8%と最も高く、次いで「ほとんど付き合いがない」が 20.2%、「どちらかと言えば付き合いがない」が 16.1%、「親密な付き合いがある」が 13.3%となっています。

問 13 高齢になると買い物が大変だったり、住居の管理が大変になる場合があることから、中心市街地の集合住宅等へ住み替えを考えることもあるかと思
います。このような場合には住み替えを希望されますか。

〈単数回答〉
N=1205



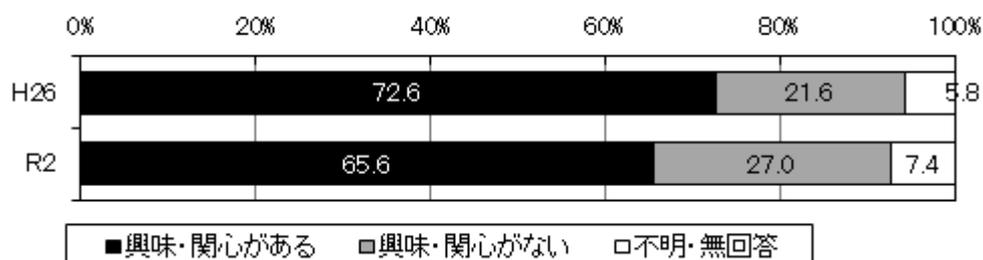
「現在の居住地に住み続けたい」と答えた人が56.2%と最も高く、次いで「条件によっ
ては、住み替えを希望する」が23.8%、「住み替えを希望する」が10.0%となっています。

協働のまちづくりについて

問 14 基山町の「まちづくり」に興味・関心がありますか。

<単数回答>

N=1205

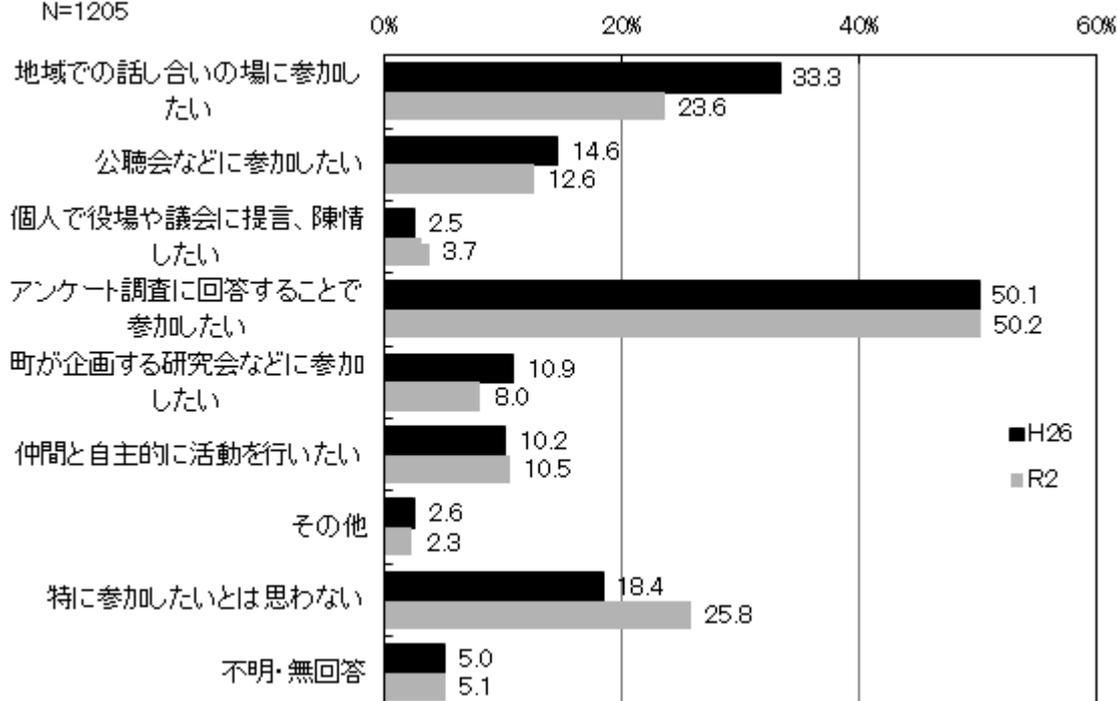


「興味・関心がある」と答えた人が 65.6%、「興味・関心がない」が 27.0%となっています。

問 15 まちづくりのためには、住民参加が必要であると言われてますが、あなたはどのような形で参加したいと思いますか。

<複数回答>

N=1205

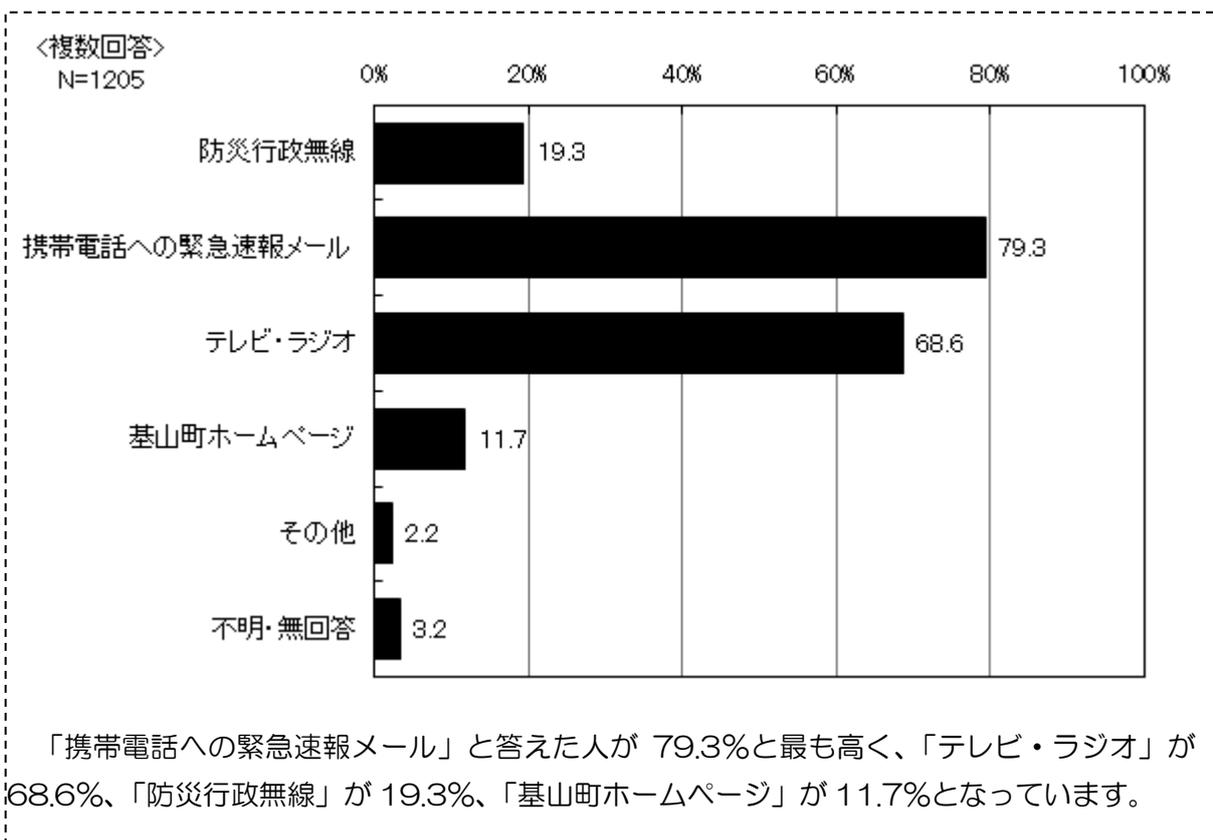


「アンケート調査に回答することで参加したい」と答えた人が 50.2%と最も高く、「特に参加したいとは思わない」が 25.8%、「地域での話し合いの場に参加したい」が 23.6%となっています。

その他回答

- 美化活動、ボランティア活動（４）
- 町以外の民間団体や企業が企画する行事への参加。
- 年齢的に参加不可能。
- 何か求められたら参加したい。
- 若い人をお願いしたい。
- ネットでの参加。
- イベントへの参加。年齢相当の企画への参加。
- 障害があり参加できない。
- 参加しても意見が反映されないため、参加の必要性を感じない。

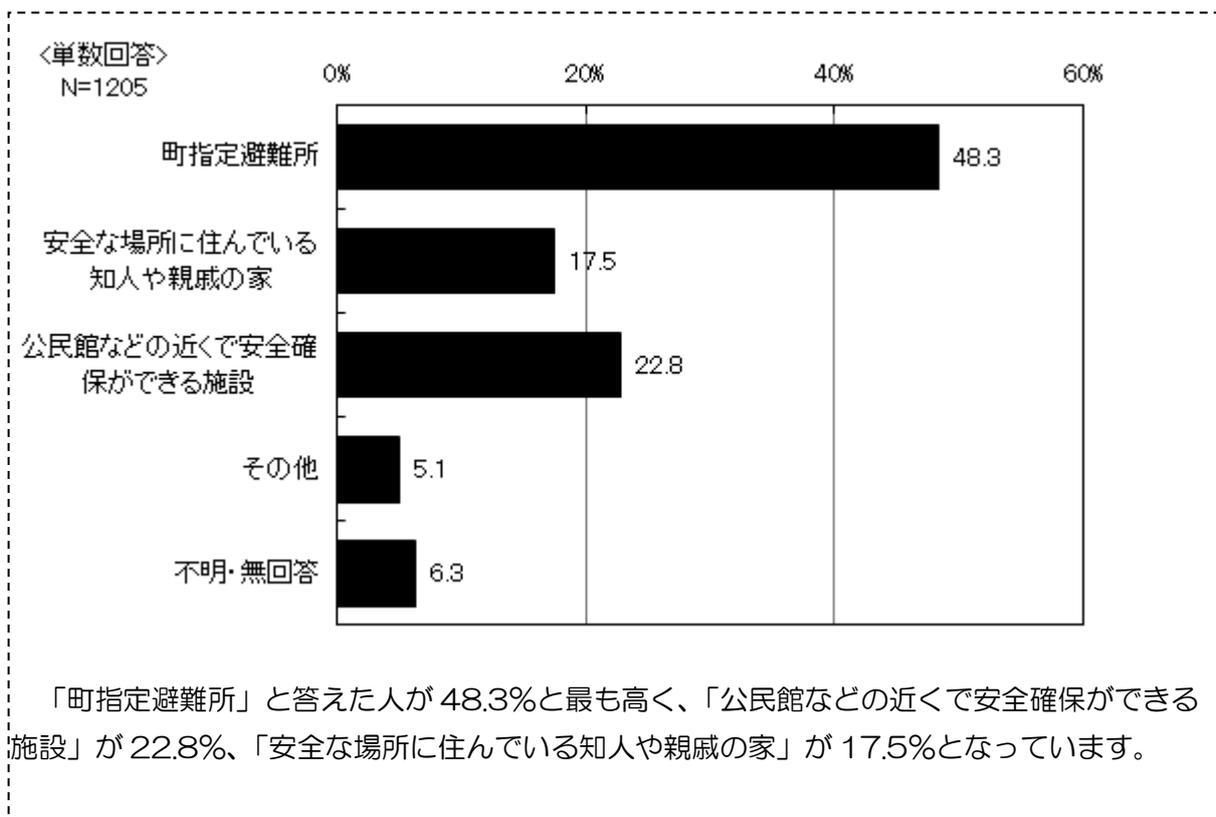
問 16 避難情報などの重要な防災情報は、どのようにして得ていますか。



その他回答

- インターネットからの情報（７）、防災アプリ（２）、民生委員児童委員からの連絡（２）
- 町内の友人・知人（２）、同居の家族（２）
- 大字基山SNS、地区の防災連絡網、グループホームスタッフ、
- ツイッター、ハザードマップで事前予想

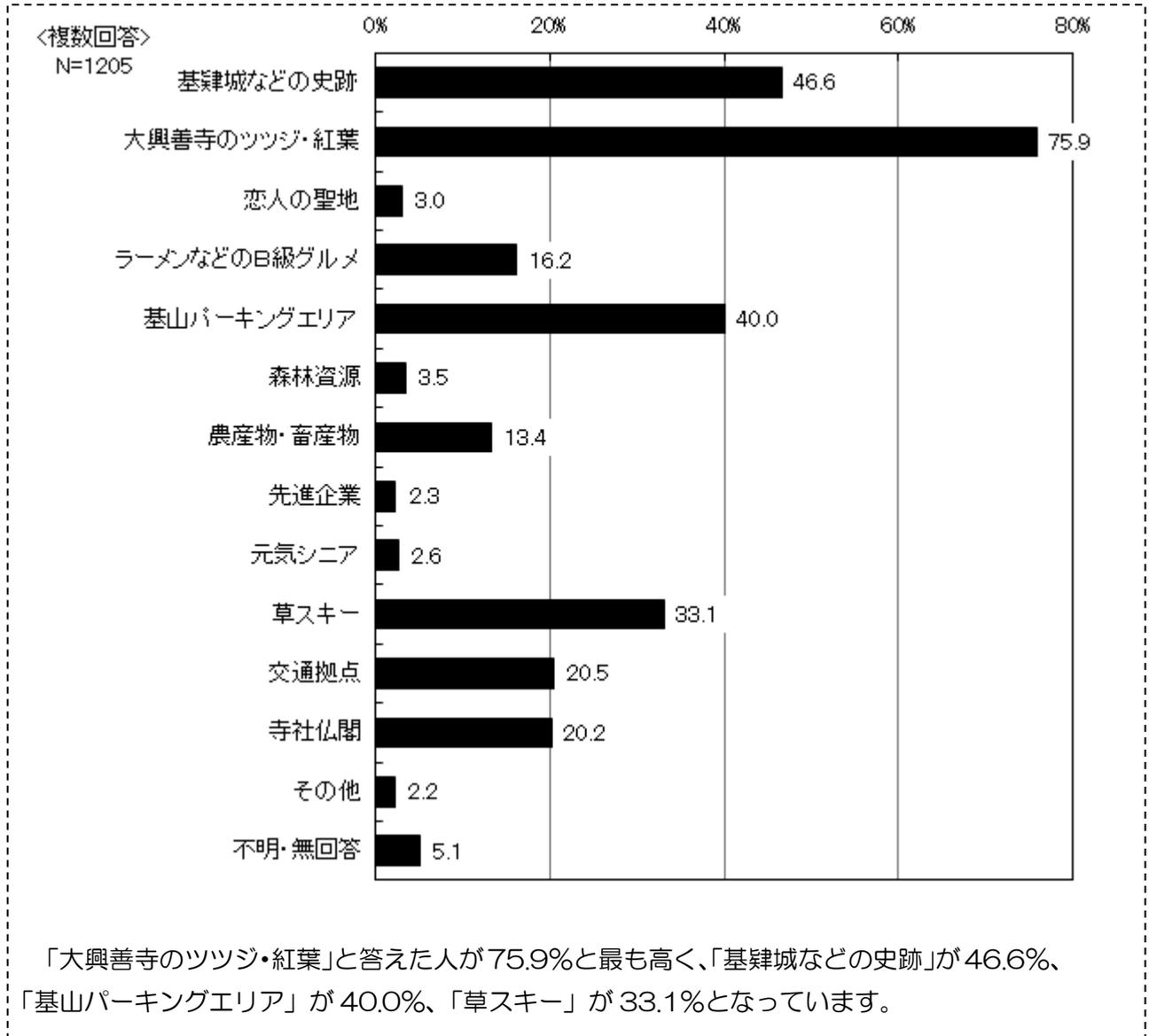
問 17 ご自身が避難する必要があると判断した場合、どこへ避難しますか。



その他回答

- 自宅、自宅2階 (26)
- 老人ホーム内、施設内 (6)
- ホテル、ビジネスホテル (4)
- 近くのお寺、隣の施設 (4)
- 町外の親戚 (3)
- 車、車で逃げる (3)
- 決めていない、わからない (3)
- その時の状況に応じて判断 (2)
- 避難の必要性を感じない (2)
- ペットと行けるところ (2)
- 職場
- 高いところ
- 多目的運動場

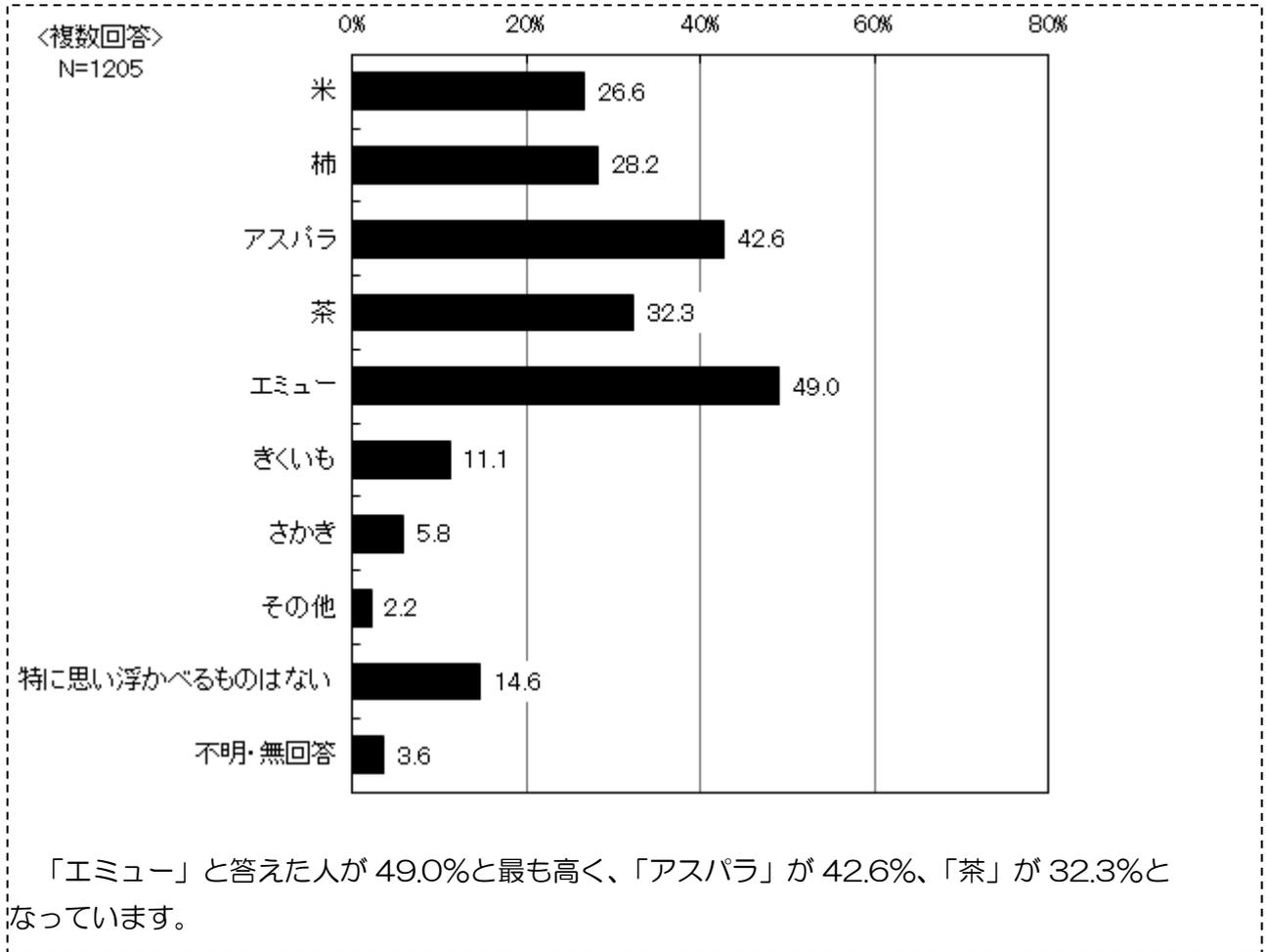
問 18 基山町の地域ブランドと言え何の思い浮かべますか。



その他回答

エミュー (5)、きやまん (2)、酒 (2)
 エミューカレー、キングダム、JRウォーキング、加工肉、
 ホタル、きやまロードレース、
 多様な人材・文化、ちょうどいい町の規模、
 基山町トレーニング室・基山町キャンプ場、
 3号線の空気の悪さ

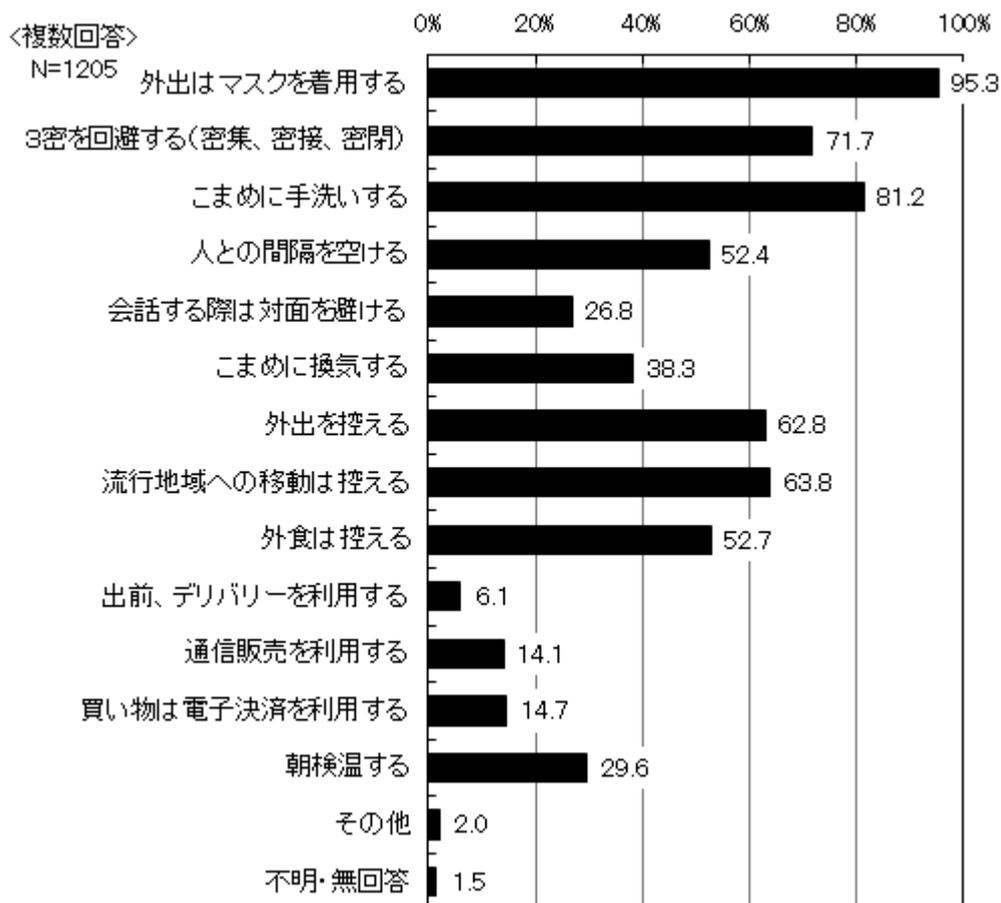
問 19 基山町の農産物・畜産物ブランドと言えば何を思い浮かべますか。



その他回答

- ライチ (5)
- みそ (5)
- 梨 (4)
- マコモダケ (3)
- ぶどう (2)
- いちご
- やぶれまんじゅう
- ハム・ソーセージ
- ネギ
- 栗
- 酒

問 20 新型コロナウイルス感染症の流行によりどのように生活が変わりましたか。



「外出はマスクを着用する」と答えた人が 95.3%と最も高く、「こまめに手洗いする」が 81.2%、「3密を回避する（密集、密接、密閉）」が 71.7%、「流行地域への移動は控える」が 63.8%、「外出を控える」が 62.8%、「外食は控える」が 52.7%、「人との間隔を空ける」が 52.4%となっています。

その他回答

- アルコール消毒、アルコールを噴霧する、手の消毒（3）
- 在宅勤務、在宅ワーク（3）
- 公共交通機関を利用しない、公共交通機関の利用を控える（2）
- 旅行のキャンセル・旅行をしなくなった（2）
- うがい、手洗いをする
- 個人の体調管理
- 血圧測定
- 免疫力を高めるための事をする
- 買い物の回数を減らす
- 花や農作物の栽培を始めた